

基本施策評価シート

基本施策最終評価

A

基本施策通し番号 19

基本施策 高度情報化の推進

構成施策

施策番号	施策名	施策最終評価
施策1	情報通信基盤の整備	A
施策2	情報リテラシーの向上	A

成果指標

指標	内容	平成32年度	平成29年度末実績	単位	平成29年度の成果の検証
観光Wi-Fiステーションの設置 個所数	観光客を対象とした無料観光Wi-Fiステーションの設置	15	12	個所	既設に加え、COCONOアートプレイス、化石発掘体験センターHOROSSA!に整備し12カ所となった

後期基本計画策定時の「現状」と「課題」

現状	情報通信技術(ICT)の進展に伴い、社会・経済・生活などの幅広い分野にその影響が及んでいる。
課題	市民の誰もが、その恩恵を受けるためには、地域格差が生じることがないよう、地域情報化を着実に推進し、整備された環境で情報通信機器の各種分野にわたる活用を促進する必要がある。また、その恩恵を享受できるよう、世代を超えた情報リテラシーの向上を図ることが求められている。

社会情勢・市民ニーズの変化

<ul style="list-style-type: none"> 通信機器の高度化、データ量の増大など機器の技術革新に対するステーションの機能向上を図る必要性が生じる可能性がある。 観光客や市民においては情報通信機器の普及により、どこでも気軽に利用したいとのニーズがある。
--

現在の「現状」と「課題」

現状	情報通信技術(ICT)の進展に伴い、気軽にアクセスできる環境整備とともに、社会・経済・生活などの幅広い分野にその影響が及んでいる。本市においても、同様で策定時と大きな変化はない。
課題	引き続き、市民の誰もが、その恩恵を受けるためには、地域格差が生じることがないよう、地域情報化を着実に推進し、整備された環境で情報通信機器の各種分野にわたる活用を促進する必要がある。また、その恩恵を享受できるよう、世代を超えた情報リテラシーの向上を図ることが必要である。

基本施策の「成果」

成果	情報通信基盤の整備では、無料公衆無線LANの設置地点数が増加した。情報リテラシーの向上では、学校で、ICT機器に慣れ親しむことにより、情報化社会に対応できる小中学生の人材の育成が図られた。
----	--

改善点

<ul style="list-style-type: none"> 学校においては引き続きICT機器を効果的に活用するために大学と連携した教員の指導の充実を図る。 Wi-Fiの情報通信機器の整備では、これまでの観光関連施設に加えて、文化施設や防災関連施設などの整備を順次行い、併せて商工会議所や店舗などと協議して民間主導のWi-Fiエリアの拡大に取り組む。
